

④ 鋼橋上部工事における鋼橋補修の受注実績見直し(1/2)

1. 背景・課題

- 入札参加者が少なく不調不落の発生の可能性が高い鋼橋補修工事について、鋼橋補修工事への入札参加を促すため、令和4年度から補修工事の受注実績を総合評価の鋼橋上部工事の加点項目に加えている
- 鋼橋補修工事は年間の発注件数が3件程度と少ないことから受注実績の有効期間は5年間とし、現行の評価基準では、実績有り(0.3点)または無し(0点)の2段階評価としている
- しかし、現在の実績の有り無しの2段階評価では、新たに実績を取得しようとする企業が1件受注した後に入札参加を控えることが懸念されることから、受注実績を1件持つ企業に継続して入札参加してもらえよう、実績評価の見直しが必要である(既に複数の実績を保有している企業は問題はない)

参考:受注評価導入後の入札参加者数

1. 鋼橋上部工(総合評価)の入札参加状況

- 令和4年度の評価導入前から県内のみ参加が続いていたが、令和6年度は技術提案型の新設鋼橋上部工事において、県外企業の入札参加が見られる
- 新設の鋼橋上部工事において、県外企業の参加も一定見込まれる

2. 鋼橋補修工事の入札参加状況

- 令和4年の評価導入後に、鋼橋補修工事の受注実績の対象工事として発注された工事は7件、価格競争の2件で県外企業の参加もあるが、その他の5件は入札参加者が1者と少ない状況である
- 鋼橋補修工事の受注実績は5カ年間有効になるため、**1件受注した後は入札参加を控えるなど意欲が低下する恐れ**がある



受注実績の保有後は入札参加意欲の低下が懸念される

実績年度	工事名称	参加者数			総合評価型式
		県内	県外	計	
R3	A 地区鋼橋上部工事	1		1	技術提案
R3	B 地区鋼橋上部工事	1		1	技術提案
R4	C 地区鋼橋上部工事	1		1	技術提案
R5	D 地区鋼橋上部工事	1		1	技術提案
R6	E 地区鋼橋上部工事	1	5	6	技術提案
R6	F 地区鋼橋上部工事	1	2	3	技術提案

表1. 評価導入後の鋼橋上部工事(総合評価)の入札参加者数

実績年度	工事名称	参加者数			入札方式
		県内	県外	計	
R3	A 地区鋼橋梁補修工事	1		1	価格競争
R3	B 地区鋼橋梁補修工事	1		1	総合評価
R4	C 地区鋼橋梁補修工事	1		1	価格競争
R4	D 地区鋼橋梁補修工事	1		1	総合評価
R4	E 地区鋼橋梁補修工事	1		1	価格競争
R4	F 地区鋼橋梁補修工事	1	1	2	価格競争
R5	G 地区鋼橋梁補修工事	1		1	総合評価
R5	H 地区鋼橋梁補修工事	1		1	総合評価
R5	I 地区鋼橋梁補修工事	1		1	総合評価
R5	J 地区鋼橋梁補修工事	1	1	2	価格競争

表2. 評価導入後の鋼橋補修工事の入札参加者数

④ 鋼橋上部工事における鋼橋補修の受注実績見直し(2/2)

2. 評価基準の見直しに係る検討

- 現行の評価方法(受注実績1件で満点評価)では、実績を保有している企業の入札参加意欲が低下すると考えられることから、受注実績件数を増やした3段階評価へ見直すこととし、2件以上で満点になるよう評価の見直しを行う

	評価内容	評価基準	配点
補修工事 の実績	過去5カ年+公告日までの期間に長崎県が発注した鋼橋補修(耐震補強を含む)工事の受注実績を評価する	受注実績あり	0.3
		受注実績なし	0



	評価内容	評価基準	配点
補修工事 の実績	過去5カ年+公告日までの期間に長崎県が発注した鋼橋補修(耐震補強を含む)工事の受注実績を評価する	受注実績2件以上	0.3
		受注実績1件	0.15
		受注実績なし	0

3. 配点基準

配点基準(技術提案型)

業種区分	技術提案	配置予定技術者の能力						企業の施工能力														加算点合計		
								企業の実績関係							地域精通度・地域貢献度				従業員数	適切な下請契約	小計		計	
								施工実績	工事成績	施工実績	優秀工事	年間受注高	C P D S	基幹技能者	小計	拠点	鋼橋補修工事の実績	小計						
鋼構造物工事(鋼橋上部工)	4.0	1.2	1.8	0.6	1.2	1.2	6.0	3.1	1.4	1.4	0.4		0.8	0.3	7.4	0.3	0.3		0.6		2.0	2.0	10.0	20.0

配点基準(施工能力1型)

業種区分	配置予定技術者の能力						企業の施工能力														加算点合計		
							企業の実績関係							地域精通度・地域貢献度				従業員数	適切な下請契約	小計		計	
							施工実績	工事成績	施工実績	優秀工事	年間受注高	C P D S	基幹技能者	小計	拠点	鋼橋補修工事の実績	小計						
鋼構造物工事(鋼橋上部工)	0.6	0.9	0.3	0.6	0.6	3.0	2.5	0.9	0.9	0.4		0.5	0.2	5.4	0.3	0.3		0.6		1.0	1.0	7.0	10.0